



千枚の登りはきつしジグザクの三十キロは 肩にこい込み  
このあたり山の眺めは 抜群と友は笑顔で カメラ構えぬ  
千枚より 眺める丘のダルマ山 地球のように 大らかに見え

1年ぶりの千枚岳からの展望は 胸にグーッとくる。塩見岳から 続くゴウモリ岳への白い砂礫の 稜線がゆるやかに伸びて美 しい。行く手には、大きな円 弧状の丸山が高く青く盛り 上がって見えるのが女性的 な感じを出し きていい。

千枚より キレットを下りて 岩ガレの ヤセ尾根越えれば 見える丸山

ヤレヤレ……3000Mへやっと 着いたぞ、今度の登山の 第1番丸山は這松で包 んだ オハキのように優し い山で腰を下したく なる。単独行の極地 だが、ググン近づい てくる。

さすが東岳 数名の先客を合 せて全部10名、今日は14°Cで 風も微風で昨年に比べ暖い。 眺望は申し分なく南アの山々 は総て指さしてできる。

悪沢岳頂上からの下りは、約20分 で、始は少なだろかだが、岩稜の 端からは、急崖状となり、崩壊の 激しいもうい岩の間の滑り易い砂 礫の下りを注意しながらコルに立 っと塩見岳の偉大さがよく望見 できる。 ゆっくり休んではおれな、我々は、 直ぐに中岳に向って岩稜を登 っていく。

丸山からは、左の岩稜を目指す。 灰紫の岩礫帯の登り、陰悪 な巨岩の上を乗り越え或は 飛び越えて、悪魔の化身の? 見るも無惨な奇怪な岩峰 を見ながら、岩屑の無差別 に散乱した頂点、悪沢岳へ 着く。昨年は10°C風速15% で寒くて震ったが、今日は 丁度良い温度だ。ミカンでも食 べながら……塩見岳、間岳、 農鳥、北岳、千枚岳等が輝 いて遠大な盛り上がりを見 せてくれるのは、何人とも言え ない境地になり、胸が熱 くなる。来て良かったなあ…… 谷さん……良い写真をとって=

千枚小屋へ朝5時30分 に歩き始め、丁度6時 間でやっと到着。長い ゆるい尾根歩きが冬 着 着 駅というところ……。 昨年お世話になった お礼を言って、(誰もい ないが) パンを食べて、ホス から引いてあった冷たい 水を飲んで出発する。

千枚岳への登りは、小屋から 40分ほどだが、大変な急登 で、荷の重く我々にはこたえ るが、稜線へ出る楽しみを 期待して頑張る。 登りの途中、赤石～聖岳の 雲が切れて、パッと広がる 蒼空の中に雄々しく迫る 3000メートル級の山々はす かに立派だ。

益々ファイトを燃やし、 ハイマツの間のザラ道を グレグレン……ジグザグ切 って登り詰める。 千枚岳には2ペー ターが展望を 楽しんでた。

踏跡の多い左側の道を巻きながら 10分も行くと、左手奥に小屋が見える。 喜んだが……これは千枚小屋ではな かった。これより15分程 急登を頑張 って左へ廻り込むと、漸く千枚小屋 が見え、炊事小屋の前へ出る